




林業福島

No. **633**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



ふくしまから
はじめよう。
Future From Fukushima.

5

2017

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 帰 り 道



平成29年度の取組について

福島県農林水産部長 佐竹 浩

皆様方には、日頃より、本県の森林整備の推進と林業・木材産業の振興に御協力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災、原発事故から七年目を迎えましたが、今なお農林水産物の出荷制限や風評など農林水産業の復興・再生には大きな課題が残っております。このような厳しい状況下にあっても、県民の皆様の御努力により着実に復興に向かっていくことに感謝申し上げます。

「復興・創生期間」の二年目となる平成二九年度は、ふくしま農林水産業新生プランに基づき、重点的かつ戦略的に施策を推進し、震災からの復興・再生に引き続き取り組んでまいります。

まず、森林の再生につきましては、森林の有する多面的機能を維持しながら放射性物質の低減及び拡散防止を図るため、間伐等の森林施業や路網の整備と放射性物質対策を一体的に実施してまいります。

また、海岸防災林につきましては、潮害・風害の防止機能と津波被害の軽減効果を併せ持つ森林の造成に着手し、これまでにいわき市で完了し、引き続き二市四町で平成三二年度の完成に向け事業を実施してまいります。

さらに、県産材の利用促進につきましては、木材加工流通施設の整備を支援し安定供給体制の構築を図るとともに、木造公共施設や木質バイオマス利用施設の整備促進に取り組んでまいります。栽培きのこの生産振興につきましても、原木・おが粉等の生産資材の供給支援や菌床しいたけ生産施設の整備支援に取り組むとともに、山菜や野生きのこの出荷制限解除に向けた取組を拡大してまいります。

平成三〇年春には、本県の復興・再生のシンボルとなる全国植樹祭が南相馬市で開催されるのに併せて、全国林業後継者大会がいわき市で開催されることと決定いたしました。林業・木材産業に関わる皆様の参加を得て、これまでの支援に対する感謝の気持ちと震災から力強く歩み続ける福島県の姿を国内外に発信できるよう準備を進めてまいります。

今後とも、本県の森林の再生と林業・木材産業の復興に向け、積極的に取り組んでまいりますので、皆様方の一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

《も く じ》

とびら

平成29年度の取組について

福島県農林水産部長 佐竹 浩…	1
第69回全国植樹祭の開催を支援します…	2
林業研究センターだより…	3～4
(春季緑の募金) …	5
「木のお仕事を見に行こう」 ～製材工場・割箸工場見学ツアー～…	6

「第六九回全国植樹祭」

大会一年前記念イベント開催…	7
普及指導員通信…	8
福島水源林整備事務所だより…	9
苗協だより…	10
「自然に親しむ」…	11
木材市況・ふくしま東西南北…	12
はなしのひろば・お知らせコーナー…	13

第六九回全国植樹祭の開催を支援します

福島県林業会議

福島県林業会議は、森林の有する多面的機能の発揮と林業の持続的かつ健全な発展に寄与することを目的に林業関係十団体で構成し、これまでも森林・林業、緑化等に関する要望活動や普及・啓発活動等に積極的に取り組んでおります。

この度、構成団体が一体となり第六九回全国植樹祭の開催を支援するため、協賛金及び全国植樹祭で使用する木製オブジェ、お手播き箱、木製ベンチ、記念植樹苗木等の物品、合わせて一、三五〇万円相当額を贈

呈することとし、平成二九年三月二日に第六九回全国植樹祭福島県実行委員会（会長「福島県知事」）への贈呈式が行われました。

木製オブジェやお手播き箱等は、昭和四五年に本県で開催された第二一回全国植樹祭で、昭和天皇・香淳皇后様がお手播きされた飯豊スギを手入れしている福島県林業研究センターの展示林から福島県が選木する立木を材料に、福島県郡山地区木材木工工業団地協同組合で製作することとしています。

木製ベンチは、福島県森林組合連合会が調達する県産材を使用し、福島県木材協同組合連合会と県内の木造技術開発協同組合・森林組合等が連携し製作を行います。なお、木製ベンチは、第六九回全国植樹祭開催後は、県内の復興・公共関連施設等で被災者の生活環境の向上に向け有効に活用されることを想定していません。

記念植樹苗木は、福島県農林種苗農業協同組合が県内産のクロマツ、アカマツ、ヤマザクラ、コナラなどを寄贈することとし、現在県内の苗木生産者が丹精込めて手入れをしています。

また、この日には、県内の森林組合で構成する福島県森林組合長会か



代表して協賛目録を贈呈する
福島県林業会議 齋藤会長



代表して感謝状を受け取る
(一財)福島県林業会館 太田理事長



贈呈式終了後の記念撮影

福島県林業会議の構成団体及び協賛

団体の名称	協賛の内容
福島県林業会議	協賛金
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会	木製オブジェ、お手播き箱など
福島県森林組合連合会	木製ベンチ
福島県木材協同組合連合会	木製ベンチ
福島県農林種苗農業協同組合	記念植樹苗木など
一般財団法人福島県林業会館	木製ベンチ
林業・木材製造業労働災害防止協会福島県支部	木製ベンチ
公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライブ財団	協賛金
一般社団法人福島県造園建設業協会	協賛金
福島県きのこ振興協議会	協賛金
福島県林業経営者協会	協賛金

らも一五〇万円相当額の木製ベンチの贈呈がありました。
林業団体は、第六九回全国植樹祭の成功に向け、全力で支援してまいります。

林業研究センターだより 平成28年度の 「普及に移しうる成果」



しいたけ露地栽培における被覆材等の効果
露地栽培シイタケ発生状況

福島県林業研究センター
企画情報部



萌芽枝内の放射性セシウム137の時期別・部位別変動(図-1)
萌芽枝の発生状況。秋期にかけてセシウム137が葉・芽から
枝部に戻る可能性が示唆されました。

同一ロット内原木の 放射性Cs濃度分布

きのこ原木生産ロット内の放射性セシウム濃度分布実態を把握することを目的として、ロット内から無作為に抽出した原木のセシウム137濃度を測定しました。その結果、セシウム137濃度の最大値付近に突出した個体が確認されました。樹皮型とセシウム137濃度の関係は明確な傾向が示されませんでした。

カリウム施肥によるコナラ萌芽 枝における放射性セシウム濃 度低減効果

林地のコナラにカリウムを施肥することによる放射性セシウム濃度低減効果を調査しました。無処理区では平成二六年度に対して平成二八年度で幹木部で五二割まで減少し、カリウム施肥区では同様に一九割まで減少しました。

平成二八年度放射線関連支援技術情報

萌芽枝内の放射性セシウムの 時期別・部位別変動

福島県林業研究センターでは、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、通常課題に加えて、放射性物質関連課題に関する試験研究を行っています。これらの課題の成果については、毎年、農業振興課から「普及に移しうる成果」として、ホームページで公表されています。平成二八年度については、放射性物質関連課題から九成果の「普及に移しうる成果」をとりまとめました。ここでは、これらの概要についてお知らせします。なお、詳細については農業振興課ホームページをご覧ください。

各時期の萌芽枝とも当年枝及び葉・芽部分のセシウム137濃度が高く、枝部分については萌芽枝の根元部より梢端側へ行くほど高い傾向が見られました。紅葉・落葉が進む秋期にかけて葉・芽部分のセシウム137の割合が減少する傾向が見られ、落葉前にセシウム137の一部が枝部に戻る可能性が示唆されました。(図-1)

しいたけ露地栽培における 被覆材等の効果

子実体の放射性物質濃度は全ての試験区について前年より高くなり追加汚染があることが示唆されました。被覆材の有りとなしの間には子実体の放射性セシウム濃度に差がみられましたが、被覆材と敷材に使った資材の種類には差がみられませんでしたが、無汚染敷材を使用しても、被覆材との組み合わせによっては、地表側からの再汚染があることが示唆されました。

放射線によるタケノコの放射性Cs濃度低減効果の検討

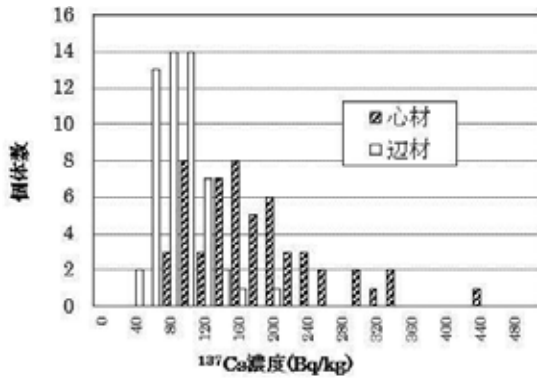
地下茎の根切りを行い区分した試験区においては、落葉除去・間伐・施肥を行った区の放射性物質の濃度が前年同様最も低くなりました。根切りを行わない試験区においては、施肥による差は確認できませんでした。原因として地下茎を通じた放射性セシウムの移動があったためと考えられます。(図-2)



施肥によるタケノコの放射性Cs濃度低減効果の検討(図-2) 試験区の概要。下の部分「落葉除去・間伐・施肥区」で低減効果がみられました。

スギの樹皮セシウム濃度の推定と材部の汚染状況の把握

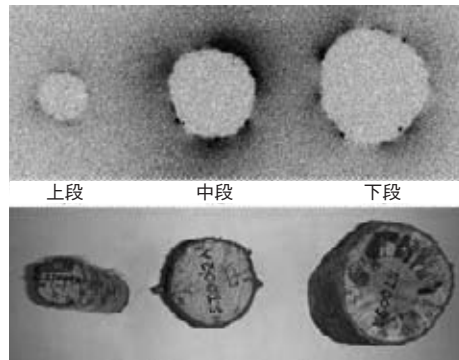
スギ材部の放射性セシウム濃度は二〇一四年以降辺材は減少する傾向に、心材はほぼ横ばい傾向にあり、心材が辺材よりも高い傾向がみられました。(図-3)



スギの樹皮セシウム濃度の推定と材部の汚染状況の把握(図-3) 同一森林内におけるスギの心材と辺材の¹³⁷Cs濃度分布。辺材に比較して心材の¹³⁷Cs濃度が高くなっています。

コナラ立木の高さ別の樹皮セシウム濃度分布

コナラ樹皮の放射性セシウム濃度を把握するための調査を実施しました。その結果、樹皮の放射性セシウム濃度は高さで異なる傾向にあり、特に立木の中央部の高さでセシウム¹³⁷濃度が高い傾向が見られました。(図-4)



コナラ立木の高さ別の樹皮セシウム濃度分布(図-4) 上段円盤IP画像 下段円盤断面写真 IP画像では、中段が濃く映し出されセシウム濃度が高いことが示されています。

間伐等の施肥を実施した林分においては、自然減衰率に則した放射線量率の推移が見られました。木材

森林施肥に伴う放射線量変化の把握

苗畑と林地に無汚染苗木を植栽し、植栽地の土壌分析と植栽木の葉への放射性セシウムの移行について調査しました。土壌の化学性では、交換性カリウムなどの交換性塩基が林地よりも苗畑で多くみられました。植栽木への放射性セシウムの移行係数については、苗畑の耕うんした箇所としては、苗畑の耕うんした箇所としていない箇所である葉に含めるセシウム濃度に差はなく植栽木への移行係数も低い傾向がみられました。一方、林地と苗畑との比較では、葉に含まれるセシウム濃度および移行係数は一成長期後にも関わらず苗畑よりも林地で高い傾向がみられました。この結果の要因の一つとして土壌の化学性の違いが考えられます。

植栽木への放射性セシウムの移行

チップ敷設に伴う林床のセシウム¹³⁷濃度と空間線量率は、敷設後、ともに減少しました。空間線量率の減少は、チップの被覆効果によるものと考えられましたが、敷設二年後の測定では、チップのセシウム¹³⁷濃度、地表からの空間線量率ともに微増しました。

平成29年度

「緑の募金」街頭キャンペーン

緑化運動標語

「未来へと 植えて育てる 緑の輪」

平成29年4月22日(土)、JR福島駅前周辺で「緑の募金」街頭キャンペーンを実施しました。

この街頭キャンペーンは、毎年、春季募金運動推進期間（4月1日～5月31日）に、福島市緑化推進委員会を中心に当協会と共催で実施しています。

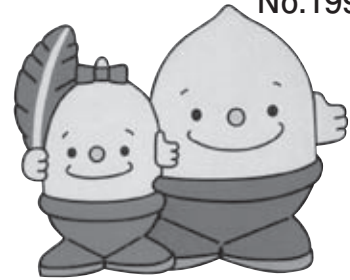
市内の荒井小、岡山小、佐倉小、佐原小、土湯小の5つの小学校の緑の少年団を含め総勢約130名が参加し、少年団の子どもたちは、街行く人達に元気な声で募金を呼び掛けました。

今回の街頭キャンペーンでは、昨年引き続き平成30年の全国植樹祭福島県開催に向けて、福島県オリジナルで製作した緑の少年団の制服を参加した少年団に着用していただき、募金活動を行いました。

小さなお子さんからご年配の方まで老若男女問わず、募金に協力していただいた多くの皆さん、本当にありがとうございました。

緑の募金コーナー

No.199



元気に募金を呼び掛ける緑の少年団

平成29年度 緑の募金運動

1. 募金目標額 70,000,000円
2. 募金運動の期間 4月1日～5月31日（春の新緑シーズン）
9月1日～10月31日（秋の紅葉シーズン）
3. 事業内容 (1) 森林の整備 県民参加の森林づくりの推進、緑化木配布等
(2) 緑化の推進 緑の少年団の育成、地方植樹祭・育樹祭の開催、花いっぱい運動、緑の写真コンクールの実施、学校緑化活動促進事業、全国植樹祭に向けて県民運動の普及啓発等
4. お問い合わせ先 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会（緑化推進局）
〒960-8043 福島市中町5-18 福島県林業会館内
TEL：024-524-1480 FAX：024-521-3246

「木のお仕事を見に行こう」

製材工場・割箸工場見学ツアー

福島県林業女子会(仮称)設立準備会事務局

女性目線から林業を元気にしようという活動が全国に広がっており、現在、林業関係者だけでなく、林業に関心さえあれば誰でも参加できる「林業女子会」が全国には十九グループが設立されています。このよう

な林業女子会の福島県での設立を目指し、福島県林業女子会(仮称)準備会(事務局「公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会」)では様々なイベント等の活動を行っています。その第二回目のイベントとして、三月十五日(水)、「協同組合いわき材加工センター勿来工場」及び「株式会社磐城高箸」を見学するツアーを開催しました。このイベントは普段目にする機会が少ない木材の加工施設などの見学・体験を通して、木

が使われている現場を体感し、また様々な工夫をしながら震災からの復興を目指す県内企業の取り組みを学ぶために開催したもので、県内の林業関係者、一般の方など、林業に関心がある女性の方十五名が参加しました。

午前中は、「協同組合いわき材加工センター勿来工場」の荒川副理事長に製材工場及び無垢材で建築した荒川材木店の事務所を案内いただきました。この製材工場は、FSC認証やJAS認定に対応しており、二〇二〇年の東京オリンピックにも同工場で製材した材を供給する予定であることを伺い、身近に東京オリンピックを感じる事ができました。



荒川社長から9mを超す長尺材の製材方法の説明



自己紹介で、互いに楽しく交流しました



手斧でのみかん割り。左側が高橋社長

また、日本に教台しかないJAS機械等級区分構造用製材装置や大径木に対応した乾燥施設を、説明を受けながら見学し、大事に育てた木が高度な技術でより有効に利用される様子を間近に見ることができ、多くのものを学び得ることができました。

「ダイニングキッチン月海(ヘルウ)」に場所を移し、参加者が自己紹介をして周りの方との話が和み、県産食材を中心としたおいしいランチにお腹も心も満たされました。

午後からは、いわき市川部町にある「株式会社磐城高箸」にて、高橋社長の案内のもと間伐材を利用した割箸づくりを見学しました。

丸太を手斧でみかんの房状に割り、機械で板にし、その際に出た端材を薪ボイラーの燃料に利用し、その熱で板を乾かします。乾燥した板を割箸一膳分の長さに揃え、更に小板にし、一気に機械で割箸を作りま

す。他にも「眠り杉枕」や、チップからアロマオイルを抽出する施設等も見せていただき、最後に一人一膳ずつ焼き印を押す体験もできました。福島の豊かな自然に育った良質な杉間伐材を使った割箸で森林保全と地方の活性化、このいわきの地から復興を推し進めていきたいと願う高橋社長の熱い思いが、十分に参加者に伝わったものと思います。

今回の見学を通して、参加者からは、「製材工場を実際に見て、とても興味深く感じた。木のことが少しわかった気がする。」との感想が寄せられ、重要な環境資源である木が最先端の技術で製材され、人々の暮らしに活かされていくことを学び、体験できたことは、とても実りのある見学ツアーになりました。

これからも女性の方が森林・林業に興味を持ち、楽しく参加されるイベントを企画してまいります。



自分で焼き印を付け、完成した箸を持って記念写真!

「第六九回全国植樹祭」 大会1年前記念イベント開催

福島県全国植樹祭推進室

福島県全国植樹祭推進室では、緑豊かなふるさとの再生や、復興に向けて力強く歩む本県の姿及び国内外からの支援への感謝の気持ちを広く発信するために、平成三〇年春季に南相馬市で開催する第六九回全国植樹祭の準備を進めています。

本年度は、式典会場の整備を進めるほか、大会式典の企画・演出、運営方法や開催に必要な準備等を具体的に定める実施計画を策定するとともに、全国植樹祭だよりの発行やホームページ、フェイスブックによる情報発信、大会1年前イベントをはじめとした各種イベントによる広報活動を通じて開催気運の醸成を図るなど、大会に向けて着実に準備を進めてまいります。

■第六九回全国植樹祭に向けた大会1年前記念イベントの開催
全国植樹祭開催に先立ち、開催気運の醸成や本県の森林及び身近な緑の大切さの啓発等を目的として、平成二九年六月十一日に大会1年前記念イベントを開催します。

記念イベントでは、「森林とのきずなづくり植樹リレー」の一環としての代表者による記念植樹と、一般参加者による記念植樹を行います。また、全国植樹祭の開催に合わせ、各都道府県から引き継がれている「木製地球儀」のお披露目や、緑の少年団の活動発表等を企画しています。

その他にも、ステージアトラクションとして、二〇一七ミス日本「みどりの女神」野中葵さんによるトークショーや、お笑いステージ等を企画しています。

また、体験・展示コーナーでは、キーホルダーやストラップ等の木工工作体験、丸太切り体験&木メダルづくり、チェーンソーアートの実演・展示、森林のアロマ体験など、森林にちなんだ内容が盛りだくさんです。無料のふるまい鍋や苗木のプレゼントもあります。
みなさんのご来場をお待ちしております。

大会1年前記念イベント

第43回福島県緑の少年団大会 第4回福島県緑の少年団未来の森づくり大会

平成29年 6月11日

午前10:00～午後3:00(受付9:30～)

伊達市「**霊山こどもの村**」

※小雨決行、雨天中止
※当日は入場料を含む、すべて無料です。(グルメコーナーは有料)

入場無料

式典

- 木製地球儀お披露目
- 緑の少年団表彰
- 記念植樹 など

アトラクション

- 木工工作体験
木製プラバンキーホルダー製作、キーホルダーストラップづくり
- 丸太切り体験&木メダルづくり (体験者限定)
- チェーンソーアートなど

苗木プレゼント

ふるまい鍋 無料配布

スケジュール

9:30 **オープニングアトラクション**
霊山太鼓(伊達市/霊山太鼓保存会)
福島県山踊り(南相馬市/福島県山踊り)

10:00 **式典**
主催者挨拶(福島県知事)
全国植樹祭「木製地球儀」のお披露目
開催地代表挨拶(伊達市長)
緑の少年団表彰式
緑の少年団活動発表(演説者:加藤実)
緑の少年団による全国植樹祭への思い発表
全国植樹祭開催地代表挨拶(南相馬市長)

10:40 **記念植樹**
代表者記念植樹(両市のごまぎれづくり植樹リレー)
一般参加者記念植樹

参加者募集中!

●申込方法
参加ご希望の方は下記①～④の必要事項を記入の上、FAX・郵便・メールでお申し込みください。
①お名前(代表者名) ②性別 ③年齢
④参加者人数(参加者合計人数) ⑤ご住所 ⑥連絡先

●申込先
[FAX]024-521-8658 [メール]jyokujyusai@pref.fukushima.jp
[郵便]〒960-8042 福島県伊達市 第69回全国植樹祭福島県実行委員会事務局

●締切 平成29年5月24日(水)当日消印有効
※定員はイベント会場場内にてお知らせを参照ください。

主催:福島県、伊達市、南相馬市、(公社)福島県森林・林業・緑化協会、第69回全国植樹祭福島県実行委員会
後援:福島県教育委員会 協賛:福島県農業協同組合中央会、地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会
第69回全国植樹祭福島県実行委員会事務局 TEL: 024-521-8658
伊達市役所産業部農林課 TEL: 024-577-3154 南相馬市役所経済部農林課 TEL: 0244-24-5262

里山林の整備活動を支援しています

いわき農林事務所

林業普及指導員 豊田 広幸

里山は、かつて農山村の暮らしの中で薪や炭の材料をとり、肥料にする落ち葉を集めるなど利用されることにより適度な維持管理がなされてきましたが、近年それらの利活用が少なくなり、人の手が入らず荒廃した里山林が増えています。里山林の荒廃は、森の恵みを活かす知恵や地域の技・伝統文化が消えゆくばかりではなく、自然豊かな景観が損なわれることや、野生動物が里山に現れることによる農作物等の被害増加などに繋がります。

今回は、地域の皆さんと一緒に森林づくりへの意識が高まるよう里山林の整備に取り組んでいる団体等の活動を紹介します。

これらの取り組みは、平成28年度から森林環境基金を活用して創設された里山林整備事業の一環で普及指導員が企画に携わり実施されました。

○ 荒廃した松林の整備に向けた取組

いわき市四倉町玉山地区は、優良なマツタケ生産地として100名を超える共有林組合が松林の保全活動に取り組んでいましたが、震災後、薬剤散布の中断もあって松枯れが増え、地元神社の参道沿いに倒木の危険があったため、今回当該事業により枯損木の除去を行うとともに組合員による継続的な保全活動に向けた意見交換が行われました。同様のケースは個人所有の松林にも見られるため市や地元行政区との連携により荒廃した松林の整備が進むことが期待されます。

○ 市民が親しむ里山づくりに向けた取組

(株)ワンダーファームは、「五感を耕す。農と食の体験ファーム」をコンセプトに複合型農業体験施設を運営しており、年間約20万人の方が来場する当施設の裏山を森林所有者や地元行政区長等との話し合いのもと枯損木等を整理し、市民が散策により自然と触れ合える里山となるよう福島県もりの案内人を交えて遊歩道の整備計画等をまとめました。次年度以降はこれら関係者が自主的に里山林の整備を継続することとなっています。当該事業をきっかけに隣接するスギ林も森林所有者自らが除伐や枝払いを行うなど、森林づくりへの意識の醸成が見受けられます。

○ その他、手入れがされていなかった学校林を、地元林業研究グループの協力を得ながら小・中学校PTAが主体となり整備し、生徒の除間伐実習や伐採木を使った木工体験等が実施されました。

今後も、各地域住民の課題や意向をお聞きしながら、地域の里山林整備に向けた各団体等の活動がさらに活発となるよう支援していきたいと思っております。



市民が親しむ里山づくりに向けて

福島水源林整備事務所だより

就任のご挨拶

福島水源林整備事務所
所長 荒家 武



今年の四月一日から、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター福島水源林整備事務所の所長に就任いたしました。
昨年の五月に森林総合研究所法が改正され、これまで暫定的な業務として附則に位置づけられていた水源林造成事業が本則に位置づけられるとともに、組織の名称も本年四月一日から国立研究開発法人森林研究・整備機構に改められました。



国立研究開発法人内の各組織の呼称としては機構の後に①森林総合研究所、②森林総合研究所林木育種センター、③森林総合研究所森林バイオ研究センター、④森林整備センター、⑤森林保険センターとなります。

森林整備センターが行ってきた水源林造成事業は、これまでと同様に新規契約においては、伐期を長期化、主伐面積を縮小・分散し、現地の広葉樹等の植生を活かした施業を指向するとともに、既契約分についても長伐期施業等への見直しを進めることとします。

また、今年度から水源林造成事業とは別に、公的な関与による森林整備を目的として、急傾斜地等の自然条件が悪く、森林所有者の自助努力によって適切な整備が見込めない森

林や、奥地水源林等における高齢級人工林の公益的機能の発揮に向け、水源林造成事業の既契約地と一体的な施業が行える保安林等を対象に森林整備を行うことになりました。

なお、水源林造成事業につきましては、新規契約の推進や既契約地の長伐期化に伴う変更契約等について、森林所有者の皆様をはじめ、関係機関の方々に引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

水源林造成事業の概要

国民生活に不可欠な水の安定供給や国民の生命・財産を守るため、水源地域で水を育む森林を再生してまいります。

○奥地水源地域の保安林の、土地所有者自身による森林整備が困難な木の生えていない荒地で、公的なセーフティネットとして森林を造成してまいります。

○森林を再生し、水源かん養や土砂流出・崩壊の防止を通じて「緑のダム」としての機能を確保してまいります。

多様な森林の整備の展開

地球規模の課題（地球温暖化対策、生物多様性の保全等）への対応に貢献するため、公益的機能が高度に発揮される森林を造成してまいります。

○針広混交林施業

広葉樹を残し、これらを活かしながら植栽木を育成することで、針葉樹と広葉樹が入り交じった森林を造成してまいります。

○複層林施業

上層木を残し、その下に苗木を植栽することで、多様な林齢で構成される複層林を造成してまいります。



針広混交林施業

苗協だより

“カラマツ種子”
着花情報提供のお願い



福島県農林種苗農業協同組合

1 カラマツ需要が高まり
種子と苗木が不足の現状

カラマツは成長が早く、育苗が容易で、根付も良く、材の強度が高く、含水率も低い樹種ですが、割れやすく、ネジレにより狂いやすいことから、板材として使いにくい。用途先を炭鉦や工事用杭、電柱として植林されました。

乾燥技術や加工技術の進歩により、その欠点は克服され、カラマツの優れた特性（強度がある、腐れにくい、適度の弾力がある等）から、外材に対抗しうる樹種として需要が高まり、近日の市場価格は、スギより高く取引されています。

2 カラマツ植栽の現状

戦後、荒廃した森林の造成が緊急の課題とし、全国各地で木材資源として適しているスギやヒノキが植林され、北海道、長野県そし

て福島県会津地方ではカラマツが植林されました。特に南会津地方ではカラマツは人工林の約三割を占め、また十齢級（林齢四六〜五〇年）以上の森林が七割を占めているため、主伐後の再造林樹種としてカラマツに代わる造林樹種選択が困難な地区においては、今後とも、多くの場所で造林樹種としてカラマツは重要です。

また、熊のスギ樹皮剥ぎ被害対策の植栽樹種として、カラマツ造林は拡大すると予想されます。

3 カラマツ種子生産技術の現状

スギの種子生産では、ジベレリン処理により着花を促進する技術が確立されていますが、カラマツの着花を促進させる技術は確立されておらず、種子生産は自然任せです。カラマツ種子は豊凶があるため、苗木不足の問題解決は種子を安定的

4 種子の確保対策の現状

に確保できるかが重要です。カラマツ種子不足を解消することを目的として、昨年度より林木育種センターが代表機関となり、各県林業研究機関等による「カラマツ種苗の安定供給のための技術開発」（平成二八〜三〇年度）に着手しました。

このプログラムでは、①着花促進 ②種子生産 ③苗木生産の三つのステップを設け、技術開発を進めることとしています。

5 福島県の現状

県内の林木育種圃場（新地・大信・会津）には、着花促進技術が確立されていないこともあり、カラマツ採種園は造成されていないため、種子を安定的に確保する体制の構築が必要です。

6 カラマツ植栽による高収入林業経営の推進

① 主伐後の再造林苗として、初期成長がよく、育林コストの低減が図られる。

② 経営的、経済的視点から長伐期施業体系を選択する森林所有者に短伐期施業（標準伐期三〇〜四〇年）を提案することで、収益のある林業経営に結びつく。そこで、県内のカラマツ造林

地から種子を採取し、種子不足解消に取り組み苗木の供給を図ります。

環状剥皮処理



カラマツの花



種子



つきましては、カラマツ着花と種子結実情報を県苗協（電話〇二四一五二二一五二九四）までお寄せください。皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 26 |

合戦場のシダレザクラ

樹木医 鈴木俊行



「合戦場のシダレザクラ」は、二本松市東新殿字大林地内に生育している。大林地区は旧岩代町のほぼ中央部に位置し、国道三四九号を田村市から川俣町方面に向い、国道四五

九号の交差点を左に岩代支所方面へ約一キロメートルの場所にある。また岩代支所からは、国道四五九号を浪江町方面へ東に約九キロメートルの場所に位置する。生育地は南東の急斜面で、北西側はスギ林となっており、南側は開け遮るものは何もなく日当たりの良い場所である。本樹はその南東斜面の頂部近くに生育している。

本樹の名称「合戦場」は、平安時代に朝廷の命で奥州征伐に来た八幡太郎義家と地方豪族の阿部貞任・宗任兄弟が戦った場所とされ、この辺一帯の高台をいつ頃からか「合戦場」と呼んでいた。この合戦場に生育する枝垂れ桜だから「合戦場のシダレザクラ」と呼ばれるようになったと言われている。またこのシダレザクラは約一七〇年前、ここから東に約一キロメートルのところに滝桜の子どもと言われる「福田寺の糸桜」があり、この糸桜の枝が道に垂れて歩くのに邪魔になり、誰かが枝を切つてそばの小川に捨てたもの



のを、所有者の先祖が田仕事を終え、小川で鍬を洗っている時に流れていた桜の枝を見つけ自宅に持ち帰り、氏神様の稲荷神社の参道両脇に植えたものと言ひ伝えられている。根元には太いアセビとシキミがあるため一本に見えるが、南北に寄り添うように二本あり「夫婦桜」とも呼ばれている。

本樹の樹種は、バラ科サクラ属のシダレザクラ (*Prunus pendula* Maxim.) で、別名イトザクラ (糸桜) とも呼ばれるエドヒガンの変種である。原産地は日本で、本州から九州にかけて分布しているが野生はない。学名ではエドヒガンの母種となっているが、シダレザクラの方が先に学名をつけられたためである。シダレザクラは姿態が優美で艶やかなため、平安の昔からよく植えられ、名桜として残っているものが多く、「三春滝ザクラ」は日本を代表するシダレザクラである。

本樹の推定樹齢は一七〇年ともいわれ、昭和六二年五月一日に市天然記念物に指定、平成十二年三月三〇



日に県緑の文化財に登録されている。形状寸法は、南側は樹高一五・五〇メートル、幹周三・一〇メートル、根元周四・九〇メートル、北側は樹高一四・五〇メートル、幹周三・〇〇メートル、根元周四・四〇メートルで二本とも主幹に著しい損傷や空洞などはなく健全に生育している。枝張りは南側のサクラが東一一・五〇メートル、西六・五〇メートル、南一一・〇〇メートル、北七・五〇メートル、北側のサクラが東一三・〇〇メートル、西九・〇〇メートル、南七・〇〇メートル、北二・〇〇メートルで寄り添うように生育していることから、樹冠は一本のサクラのようである樹形も一本の大きな傘を開いたような見事な姿をしている。

周辺は所有者の三浦さんが十数年前から菜の花を蒔くようになり、開花期には黄色い菜の花畑と淡紅色の桜、そして青空とのコントラストが評判で、多くの人々が訪れる桜の名所となっている。また、東北・夢の桜街道へ復興への祈りを捧げる桜の札所・八八カ所巡りへの十八番桜の札所になっていて、全国から桜詣での人で賑わう。皆さんも夫婦桜からぜひ御利益を！

木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(2月15日現在)

(単位：㎡当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)		9 (8~9)	△1	9 (8~10)	0
		10~14				12 (12~13)	0	(0~0)		12 (12~12)	0	12 (12~13)	0
	中	14~22	3.00	並	スギ	14 (14~15)	0	10 (10~10)	0	11 (9~13)	△2	12 (9~15)	△1
					ヒノキ	14 (13~15)	0	(0~0)		15 (15~15)	0	15 (13~15)	1
		20~28	6.00	並	スギ	17 (16~18)	0	10 (10~10)	0	15 (13~17)	0	15 (10~18)	0
					ヒノキ	28 (24~33)	0	(0~0)		20 (15~24)	0	24 (15~33)	0
			3.65	並	スギ	12 (12~13)	0	10 (10~10)	0	12 (12~13)	△1	12 (10~13)	0
						4.00	並	12 (11~13)	0	9 (9~9)	0	12 (12~12)	△1
	4.00	並	アカマツ	9 (7~12)	△1	(0~0)		9 (8~10)	0	9 (7~12)	0		
	1.80	並	アカマツ	7 (5~8)	0	(0~0)		7 (6~8)	0	7 (5~8)	0		
	外	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		28 (28~28)	0	28 (28~28)	0
					米マツ	32 (32~32)	0	(0~0)		29 (28~29)	0	30 (28~32)	0
28以下		3.80	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		28 (27~28)	0	28 (27~28)	0	
				アカマツ	(0~0)		(0~0)		34 (27~40)	0	34 (27~40)	0	
4.00	並	カラマツ	(0~0)		(0~0)		26 (25~27)	0	26 (25~27)	0			
		カラマツ	(0~0)		(0~0)		26 (25~27)	0	26 (25~27)	0			
パルプ用材			並	マツ	6 (6~6)	0	(0~0)		5 (5~5)	0	6 (5~6)	0	
				広葉樹	9 (9~9)	0	(0~0)		7 (7~7)	0	8 (7~9)	0	

一月の原木市場への入荷状況は、前月比二一割増(前年比二一割減)の二七、八七九立方メートルとなっている。販売量については、前月比一一割増(前年比一割増)の二八、一〇五立方メートルとなっている。二月の価格については保合いとなっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		7 (6~9)	0
	13~14			カラマツ	(0~0)		8 (7~8)	0
	16以上			カラマツ	(0~0)		10 (9~11)	0

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

平七桜の謂われは、南泉寺の住職だった慶優上人が安照寺(旧南郷村)からいただいた桜の苗を、お供の平七が持ち帰って本堂前に植えたことか

門をくぐり境内に入ると樹齢二二〇年余のしだれ桜が出迎えてくれます。平七桜と呼ばれ、桜の名所になっています。



南泉寺の茅葺きの楼門



南泉寺と平七桜

南会津町金井沢にある南泉寺というお寺には、福島県の重要文化財に指定されている楼門があります。この楼門は寛政六年(一七九四年)に南山御藏入領内の農民が寄付を募り建設したもので、趣深い茅葺き門になっています。

丁度、ゴールデンウィーク頃が見頃ですので、南会津にお越しの際は、立ち寄って見てください。

南会津に来て、早一年になりました。南会津にいらっしゃるうちに、南会津地方でしか味わうことのできない自然や文化を体験するために、名所をめぐっているとありますが、去年一年の中で、印象深かったものを紹介したいと思います。

現在は、駒止トンネルのおかげで旧南郷村にも簡単に行き来することができるようになりましたが、当時の苦労は相当なものだったことが窺えます。



南泉寺の楼門と平七桜

南会津農林事務所 緑川 智子

表紙の写真



「帰り道」

第31回ふくしま緑の写真コンクール金賞
受賞者 佐久間金利さん(三春町)
撮影場所:須賀川市

はなしのひろば

「異種の道」

米田雅子氏(慶応義塾大学特任教授)の講演を聞いた。その中で特に印象的だったのが「異種類の道ネットワーク」の話であった。

東日本大震災の大津波で沿岸の道路が寸断され、多くの集落が孤立状態となった。その際、集落の山側にある林道・農道・林業作業道が「命の道」となり、住民の避難路、救助・復旧路として利用された。今、米田先生は、「公道しか載っていない道路地図に公道+民間道+国有林道を入れた「異種の道」の地図をつくる活動をされている。その中には、多くが不明な里道や赤道も含まれている。その資料にだされた「異種の道」を作成した下呂市の道路地図は、下呂市全域に道が張り巡らされ、まるで血管が走り始めないように感じる。全域まで血が通った生き物のようで地図に命を吹き込んだようだ。

しかし、異種の道には、異なる準拠法令、定義、監理者、利用対象車両、道路構造、規定があるため、法制度の工夫が必要と話された。講演を聞きながら、ここにはこんな形で復興に関わっている人たちがいるのだと驚嘆した。日本地図上に「異種の道」が完成したらそれこそ日本全土が道という血管でつながれ、命をつないでいく。大変地道な仕事だが、心ある仕事であることには間違いない。県内でも多くの方々が林道や農道開設に携わり、道をつないで来られたことだろう。

五月は新緑の季節。山々の濃淡深淺な緑の眩しい生命の中で、道は、はてしなくのびている。そして、その道が地図上でも違う道とつながること、を思うだけでも感動である。日本列島の道が総称して「命の道」となることを願いたい。

(都)

編集

福島県内四森林管理署

福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会

福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業同組合

ふくしま緑の森づくり公社

森林研究整備機構福島水源林整備事務所

福島県森林・林業・緑化協会

(福島市中町五番一八号県林業会館内)

相馬 雅俊

発行人

陽光社印刷株式会社

(定価 一〇八円)

お知らせコーナー

○野生山菜等の採取及び出荷・販売について

山菜の季節となりましたが、山菜の種類によっては市町村単位で出荷制限の指示が継続されているものがあります。出荷制限区域から採取されたものは出荷・販売はもとより、飲食店、宿泊施設などでの提供、無償譲渡を行わないようご注意ください。

山菜の出荷制限については福島県林業振興課のホームページで最新の情報をご確認ください。「福島県 山菜 出荷制限」で検索。
(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyou-monitoring.html>)

また、出荷が制限されていない市町村の山菜等を出荷・販売を希望する場合は、出荷前にモニタリング検査を行う必要があるため、県農林事務所までご相談ください。

安全な野生山菜等の流通を図るため、皆様のお協力をお願いします。

●連絡先一覧

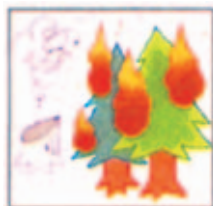
事務所名	住所・連絡先
県北農林事務所 (森林林業部)	福島市杉妻町2-16(福島県庁北庁舎5階) 024-521-2632
県中農林事務所 (森林林業部)	郡山市麓山一丁目1-1 024-935-1367
県南農林事務所 (森林林業部)	棚倉町大字関口字上志宝50-1 0247-33-2123
会津農林事務所 (森林林業部)	喜多方市松山町鳥見山下天神6-3 0241-24-5734
南会津農林事務所 (森林林業部)	南会津町田島字根小屋甲4277-1 0241-62-5375
相双農林事務所 (森林林業部)	南相馬市原町区錦町一丁目30 0244-26-4305
富岡林業指導所	富岡町小浜553-2 0240-23-6084
いわき農林事務所 (森林林業部)	いわき市平字梅本15 0246-24-6193

●わらびの出荷制限位置図



備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



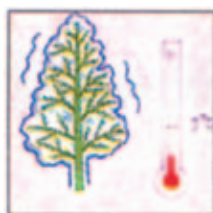
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジのタワーヤーダ
TY-U5C タワーヤーダ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

橋梁型エンドレスタイラー方式に対応した
5脚式タワーヤーダ
上行荷・下行荷ともに橋梁型集材が可能



For the future with forest

イワフジ工業株式会社 北関東支店

www.iwafuji.co.jp

(北関東支店) 福島県郡山市八山田5-314
TEL 024-973-5168 FAX 024-973-5168

(本社・工場) 岩手県奥州市水沢区桜屋敷西5-1
TEL 0197-23-3111 FAX 0197-25-3177

(支店) 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

<p>野生獣類から大切な植栽木を守る</p> <p>ヤシマレント</p> <hr/> <p>ヤマビル対策に</p> <p>マリックスター(駆除剤)</p>	<p>蜂さされ防止</p> <p>ハチノックL(巣退治) ハチノックS(携帯用)</p> <hr/> <p>タケを駆除する</p> <p>クロレートS</p>	<p>大切な日本の松を守る 住化グリーン®の林業薬剤</p> <p>ヤシマスミバイン乳剤 ヤシマスミバインMC グリーンガードNEO パークサイドF ヤシマNCS モリエートマイクロカプセル マツグリーン液剤2 マッケンジー</p>	<p>くん蒸用生分解性シート</p> <p>与作シート(茶・白) (折りたたみ式 専用キャリーバック使用)</p> <hr/> <p>竹・ササの防除に</p> <p>クロレートS粒剤</p> <hr/> <p>アメシロなどの害虫防除殺虫剤</p> <p>打ち込み上手</p>
---	---	---	--



住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

<p>チッパシュレッダ</p>  <p>竹もOK! SR3100 出力 18.4kW (質量1,330kg) 水冷ディーゼル 967634301 ¥3,580,000(税抜)</p>	<p>ハンマナイフモア</p>  <p>ZHM1550 出力 27.5kW (質量1600kg) 967081901 ¥5,860,000(税抜)</p>	 <p>ZHM800 出力 7.4kW (質量230kg) 967088901 ¥748,000(税抜)</p>
--	--	--

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1